



仙北谷紗菜さん（左／現在小学4年生）と仙北谷明希さん（右／現在小学1年生）。表紙の再現もしていただきました。



広報にいかっぷ第 629 号 平成 30 年（2018 年）12 月発行

広報 続いては、仙北谷紗菜さんと、妹の明希さんです。ただ、お子さんは当時の記憶がないようで、今回はお母さんの千恵さんにもお話を伺いたいと思います。

まず、この写真はおいくつときのものですか？

明希（広報裏面の「誕生おめでとう」を見て）同じ年の人の名前がある。

千恵 紗菜が3歳、明希が生後3カ月のときですね。

明希 髪の毛がなくて恥ずかしい：

紗菜 明希が1歳のときだと思っていた。広報 撮影当日のことは覚えていますか。千恵 撮影は教育委員会の事業でした。2年連続で行われ、写真は1年目のものです。2年目も参加しましたが、その時はテレビ取材が来て驚きました。

撮影は椅子の上からで、周りの方がおもちゃを使って、子どもの視線を引きつけました。この写真で紗菜が右足を上げているのは、おもちゃに反応したからです。

広報 広報の表紙になったことで、周囲からの反応がありましたか。

千恵 表紙になった広報は額に入れて、今でも家に飾っています。また、友達が「読み終えた広報の扱いに迷って…」と言って広報をくれたので、それを親に送りました。

札幌で暮らしている親は「一般の人が広報の表紙になるのは、札幌ではあまりないよ」って、すごく喜んでいました。一般の人が広報の表紙を飾ることは、小さな町のいいところだと思いますね。

広報 最後に一言お願いします。

千恵 家ではなかなか体験できないことだったので、とても良い思い出になりました。撮影した写真は年賀状にも使わせてもらいました。ぜひ、またこのような事業が行われるとうれしいですね。ありがとうございました。

平成 20 年度以降の「広報にいかっぷ」は、新冠町公式ホームページにてご覧いただけます。過去の出来事や表紙写真を振り返りたい方は、ぜひご活用ください。



新冠町公式
ホームページ
「広報にいかっぷ」



この月の広報では、「まちの話」として、表紙を飾った「おひるねアート」の撮影の様子が紹介されたほか、合唱団V.O.Iの結成20周年記念コンサートの様子も掲載されました。

コンサートは3部構成で行われ、最後には、結成のきっかけとなった『交響詩

新冠 その輝ける未来 飛翔」が歌われたと記されています。

また、第4回定例会の行政報告も掲載され、JR日高線に係る取り組み状況や、この年4月から始まった学校給食無償化の実施状況が報告されました。



新冠町商工会青年部の皆さんと部員のお子さん。鯉のぼりを飾っている様子を見ていた認定こども園ド・レ・ミの青木先生にも入っていただきました。

広報にいかっぷ第 644 号 令和 2 年（2020 年）5 月発行

広報 ここからは、表紙を飾っていた方にお話を伺いたいと思います。

新冠町商工会青年部を代表して部長の後藤紳介さん、今回はよろしくお願います。早速ですが、5年前の広報表紙ですが、ご覧になってどう感じましたか。

後藤 若いですね。シワがない。写真で見るとそう思いますね。

それから、このときはちょうど青年部を卒業される先輩も参加してくれていて、「最後だから」と予定を調

整して駆けつけてくれました。当時から頼りになる存在で、今でも心強い先輩です。

広報 表紙になったことで、周囲からの反応はありましたか。

後藤 やっていることを知ってもらえたのが大きかったです。鯉のぼりを飾っていること自体を初めて知った方もいましたし、「誰がやっているのか」を表紙で知った方もいました。広報のおかげで「商工会青年部がやっているんだ」と認識してもらえたと思います。

広報 鯉のぼり飾りは、商工会青年部の大きな事業の一つと伺いました。

後藤 そうですね。もともとは、ハイセイコーフェスティバルでクレーンを使って飾っていた鯉のぼりを有効活用してほしいという声があったのがきっかけです。数が足りなかったので集めて、温泉周辺に飾ったのが始まりです。

広報 場所は今と違ったのですね。後藤 はい。でも風で飛ばされることが多くて、当番制で管理するのが大変でした。

それで、認定こども園ド・レ・ミの設立をきっかけに、場所を子ども園に移しました。

広報 飾り付けにも工夫があったとか。

後藤 鯉のぼりが足りないとなつたとき、「足りないなら作ればいい」となって、女性部と協力して子どもの手形模様の鯉のぼりを作りました。

他には、以前はポールを使って飾っていましたが、木の枝にあたって破れることも多く大変でした。ただ、どうしても高いところに飾りたくて、いろいろ考えた結果、ロープを張って飾る方法に変えました。もっと高く掲げたい気持ちもありますが、風に飛ばされるおそれがあるため、現在の高さが限界だと思っています。

広報 最後に一言お願いします。

後藤 先輩たちが続けてきたことを大切に、これからも活動していきたいです。

また、子どもたちのために、若者が頑張っていることを皆さんに知っていただけると嬉しいです。

この頃は新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動が制限されていた時期でした。掲載された入学式の様子では、全員がマスクを着用しているほか、町商工会女性部がマスク不足の中、子ども用の手作りマスクを制作したことなど、当時の状況をよく伝える出来事が紹介されています。

また、明るい話題として、有限会社ノースヒルズで生産され、のちに新冠町長特別表彰「特別荣誉賞」を受賞したコントレイル号が、三冠レース初戦となる皐月賞を制覇したことが掲載されました。

